

テーマ：観光（実践校）

胆振管内 洞爺湖町立洞爺中学校

本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において、「洞爺湖」について学習課題を設定し、有珠山ジオパークの散策を行うとともに、火山マイスターの講話及び体験活動を通じて学んだことを、1人1台端末を活用してまとめ、ホームページで発信するなど、探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

観光教育について、「洞爺湖」の環境を守り観光資源を調査・考察する学習を通して、地域の自然環境を考察するとともに、郷土の良さや特徴を知り、「洞爺湖」に対するこれからの願いを具体的に考え、発信できるようにする。

取組の様子

(1) 課題の設定

第1学年の総合的な学習の時間のねらいを踏まえ、観光地である「洞爺湖」の自然環境について理解を深め、自然を守るための取組に興味関心を持ち、テーマ及び探究的な課題を設定しました。



【火山マイスターの講話の様子】

(2) 情報の収集

火山マイスターの講話や有珠山ジオパーク散策及び各種自然体験学習を通して、「洞爺湖」の自然や他地域の自然を守るための取組について情報を収集しました。



【有珠山ジオパーク散策の様子】

(3) 整理・分析

1人1台端末を活用して、収集した情報を整理するとともに、より分かりやすくまとめるための表現方法を生徒同士で交流・協議し、「洞爺湖」の自然環境や観光資源について理解を深めました。

(4) まとめ・表現

1人1台端末の共同編集機能を活用して作成した「洞爺湖」自然体験学習のホームページを発表する活動を通して、自然環境を守る意識を高めるとともに、自分たちが住む郷土を知り大切にしようとする態度を育むことができました。



【ホームページを作成している様子】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・課題について、理解を深めたり、収集した情報をより効果的に伝えるための視点を得たりすることができるよう、生徒同士で1人1台端末の共同編集機能を活用し、適宜交流・協議をしました。

実践の振り返り

- ・総合的な学習の時間を中心に各種体験活動を充実させることにより、自分たちの住んでいる地域や北海道の歴史や文化についての愛着や誇りを育むことができました。
- ・1人1台端末を効果的に活用し、校内だけではなく保護者にも公開するなど、成果を発信する手立てを工夫することで郷土に対する愛着や誇りをより一層育むことが期待できます。